

iNTACS メンバーの、SPICE アセッサー、そして intacs®の友人の皆様へ!

もうすぐ今年も終わりに近づき、いくつかのエキサイティングなアップデートをお知らせいたします。

まず、最近のトレーニングコンセプトの変更が順調に進んでいることをお知らせできることを嬉しく思います。最初のプロセスエキスパートトレーニングと試験が実施され、フィードバックは好評でした。この新しいアプローチは、すでにトレーニングコンセプトにおいて貴重な改善となっていることが証明されています。

さらに、アセッサー認証の「手続き」において重要な変更があることもお知らせいたします。この更新は、プロセスを効率化し、当社のアセッサーの最高レベルの能力を維持することを目的としています。詳細なガイドラインと実施スケジュールについては、今後の情報をお待ちください。

今年を締めくくるにあたり、皆様とご家族に温かいご挨拶を申し上げます。どうぞ素晴らしい休日と繁栄の新年をお迎えください。

よろしく願いいたします。

iNTACS ワーキンググループ「情報管理」

Table of Contents

エグゼクティブボードからのお知らせ	3
各ワーキンググループ(WG)からのお知らせ	5
<i>iNTACS “Organization SPICE” WG からのお知らせ</i>	5
<i>INTACS “Cybersecurity SPICE” WG からのお知らせ</i>	6
SPICE 関連カンファレンスのお知らせ	7
免責事項、商標および商号	11
商標	11
翻訳	11
ご意見およびフィードバック	12

エグゼクティブボードからのお知らせ

2024 年 9 月に iNTACS e.V. メンバー総会開催

iNTACS currently has 19 active working groups - the latest working group is the Optical SPICE Working Group. The certification bodies reported on the status of the assessor certification.

今年のメンバー総会は 2024 年 9 月 13 日に開催されました。エグゼクティブボードおよびマネージングディレクターからの報告が議題の中心でした。会長は iNTACS の状況、会員状況、スタッフ体制、財政について報告しました。新たな学生フェローである Jakob Disselkamp が自己紹介を行い、彼の博士論文のテーマについて説明しました。

マネージングディレクターは、iNTACS 委員会およびワーキンググループのボランティア活動の概要をまとめ、Medical SPICE および Optical SPICE ワーキンググループの状況と目標について報告しました。ISO/IEC 33xxx のアップグレードトレーニングコースが完成し、今後 PE/PA/CA のトレーニングコースが続きます。

現在 iNTACS には 26 人の地域代表者と 21 のトレーニングプロバイダーが存在します。Omnex 社が前回のメンバー総会以来、新たに加わりました。IT、ウェブサイト、ユーザーサポート、Gate4SPICE イベントの状況に関する重要な結果が報告されました。また、VDA SYS 2024 にて出展した新しい展示ブースが紹介されました。

現在 iNTACS では 19 の WG が活動中であり、最新は"Optical SPICE" WG です。

認証機関よりアセッサー認証の状況についての報告もありました。

2024 年 10 月ドイツ・エアツェンにて、iNTACS e.V.エグゼクティブボード会議開催

Focus topics were the strategic direction and future commitment in Asia with a focus on China. The iNTACS executive board will hold discussions on these topics with strategic partners and clarify the legal basis. Monthly statistical reporting has been set up that shows the development of certified experts and assessors.

主な議題は戦略的方向性と、中国を中心とするアジアでの今後の取り組みでした。iNTACS のエグゼクティブボードは今後、戦略的パートナーとこれらのテーマについて話し合い、法的基盤を明確にする予定です。認定プロセスエキスパートおよびアセッサーの推移を示す月次統計報告がなされました。

「手続き認証基準」の新バージョン

iNTACS 手続き認証基準が改訂され、10.4 が最新バージョンとなっております。コミュニティからのフィードバックに基づいた変更や追加が反映された新基準は、認証機関との最終調整を経て公開されました。たとえば認証機関には処理期限が設定されました。再認定ルールがさらに詳述され、「能力認定」と「アセッサーまたはインストラクターライセンス」の違いが説明されています。コンピテントアセッサー候補

の観察に関するルールも改訂されました。たとえば観察者の最低条件は、1 度以上資格更新した(つまり 3 年以上)コンピテントアセッサーであること、などです。また表現の更新や文書編集上の改訂も行われています。最新バージョンはウェブサイトにログイン後、ダウンロードいただけます:

<https://intacs.info/user-downloads/assessor-certification-documents?folder=Procedures>

新しい「費用体系」

2024 年 10 月の新規トレーニング導入に伴い、費用体系が更新され、トレーニング教材や翻訳版の費用が明確になりました。最新バージョンはウェブサイトにログイン後、ダウンロードいただけます:

<https://intacs.info/user-downloads/assessor-certification-documents?folder=Procedures>

iNTACS ウェブサイトに新しく FAQ ページ / iNTACS®ナレッジベース登場

Automotive SPICE® PAM 改訂とトレーニング新体系導入に際し、iNTACS に多くの質問が寄せられました。iNTACS のほうでは、いただいた質問に対する回答を体系的にまとめ、ウェブサイトに掲載いたしました。アセッサー認定やトレーニングに関するご質問がおありの場合は、まずは新設された「ナレッジベース」欄 (<https://intacs.info/ticket-dashboard>)をお訪ねいただく方が、チケット提出より迅速に情報を得ることができます。

ISO/IEC 15504 認定、2025 年に終了

これまでに取得された ISO/IEC 15504 に関する認定は、2025 年 12 月 31 までにアップグレードコース受講により、ISO/IEC 33xxx に変換可能です。それ以降は iNTACS のシステムから ISO/IEC 15504 認定情報を削除します。従って全ての ISO/IEC 15504 アセッサーは、2025 年中に ISO/IEC 33xxx アップグレードコースを受講する必要があります。

iNTACS ウェブサイトに新しく JAXA PAM 登場

JAXA® (日本航空宇宙探査機構) PAM の最新バージョンが、iNTACS ウェブサイトよりダウンロードいただけます: <https://intacs.info/spice-center>.



エグゼクティブボード担当者:

Lars Dittmann (lars.dittmann@intacs.info)

各ワーキンググループ(WG)からのお知らせ

iNTACS “Organization SPICE” WG からのお知らせ

最近「アセスメントに認証書をいただけますか？」という訊ねられることが増えてきました。

一言で答えるなら”NO”です。Automotive SPICE® にはアセスメントの認証体系がないためです。

ですが詳しく答えようとするなら、話は長くなりざるを得ません。こういったご要望に応えるために、私たち WG では多くの企業と協力し合い、認定書のあるべき姿を検討してきました。複数のコンサルティング企業やドイツの自動車メーカー、グローバルサプライヤー、更には非自動車業界の企業とも協力し、intacs の “Organization SPICE” WG として SPICE モデルを開発しました。このモデルは ISO/IEC 29169 に基づいており、ISO/IEC 33004 に準拠したアセスメントモデルの認証スキームがどのようにあるべきかを定義しています。その結果、”intacs Organization SPICE Model”と”intacs Trustworthy Assessment and Certification Guidelines”が作成されました。Intacs ではアセッサーやインスペクターの資格認定とトレーニング教材の開発を引き続き担います。

「信頼できる組織成熟度レベルアセスメント」は、アセスメント結果の信頼性を担保することが狙いです。結局のところ、アセスメント結果は最終顧客に信頼してもらえて初めて意味があるためです。最後に残る疑問は、成熟度レベル(ML)アセスメントの費用はいくらで、どんな利点があるのか？ 要するに自社でやるに値するものなのか？ でしょう。

組織全体の ML アセスメントは、一連の能力レベル(CL)アセスメントにおいて安定的にレベル達成してきた企業にとってのみ、現実的な意味を持つでしょう。(クラス 1 の)ML アセスメントでは最低 4 つのプロセスインスタンスが要求されるため、CL アセスメントの約 4 倍の工数がかかり、アセスメント対象とするプロセスやプロジェクトのインスタンスの発表はアセスメント直前であるなど、スケジュール調整の難しさもあります。

組織全体アプローチの利点は、組織共通のプロセスモデルが社内全体に展開され、全員が同じプロセスに習熟し活用することにあります。結果として、新規プロジェクトにおける成功確率が飛躍的に高まります。局地的アプローチ、つまりパイロットプロジェクトでプロセスを試行後、展開された複数のプロジェクトで同じ教訓(失敗)を経験する、といったケースとは異なる成果が期待できます。

The training and exam material is planned to be released in Q1 2025.

本 WG では、パイロットのプログラムと実施のための「信頼できるアセスメントおよび認証ガイドライン」を策定しました。アセスメント結果の有効期間を 3 年とし、かつ 12 ヶ月ごとの維持アセスメント受審も定めています。アセスメントの独立性カテゴリは、ISO 33004 第 7 条および ISO/IEC 29169 に定義されている「タイプ A」に限定されます。また、本ガイドラインではリードアセッサーと相互独立した 1 名以上のコ・アセッサーを要求しており、更にはいずれのアセッサーからも独立した intacs 認定インスペ

クターが全てを再確認する体制も求めています。

iNTACS Organization SPICE のバージョン 3.0 がリリースされております。

iNTACS 「信頼できるアセスメントおよび認証ガイドライン」は 2024 年第 4 四半期に、トレーニング教材および試験問題は、2025 年第 1 四半期にそれぞれリリース予定です。

	<p>担当者: Susan Mohr (susan.mohr@intacs.info) iNTACS “Organization SPICE” WG リーダー</p>
---	---

INTACS “Cybersecurity SPICE” WG からのお知らせ


サイバーセキュリティのための Automotive SPICE PAM 2.0 およびトレーニング教材の更新

サイバーセキュリティのための Automotive SPICE PAM v2.0 のイエローブック(草稿版)は、現在(短縮された)レビュー段階にあり、1 月中旬まで VDA-QMC のウェブサイトからダウンロードできます

(<https://vda-qmc.de/en/publikationen-und-apps/gelbbaende/> を参照)。PAM v2.0 の最終版がリリースされ次第、トレーニング資料の更新を開始します。

さらに、Automotive SPICE v4.0 の変更を反映したトレーニング資料 v3.0 が、数週間以内に公開予定です。

今後も最新情報にご注目ください！

	<p>担当者: Dr. Thomas Liedtke (thomas.liedtke@intacs.info) iNTACS “Cybersecurity SPICE” WG リーダー</p>
---	--

SPICE 関連カンファレンスのお知らせ

2024 年 9 月 4 日～6 日、ホッホシュレ・ミュンヘンにて”EuroSPI 2024 カンファレンス”開催

第 31 回 EuroSPI カンファレンスが、2024 年 9 月 4 日から 6 日にかけてホッホシュレ・ミュンヘンにて成功裡に開催されました。9 月 2 日にはプレイベント「技術デー」がオンラインにて行われ、41 名が参加しました。メインイベントにはオンライン(53名)とオンサイト(102名)を合わせて155名が参加しました。カンファレンスはハイブリッド形式で、5 つの並行セッションやテーマ別ワークショップが行われました。

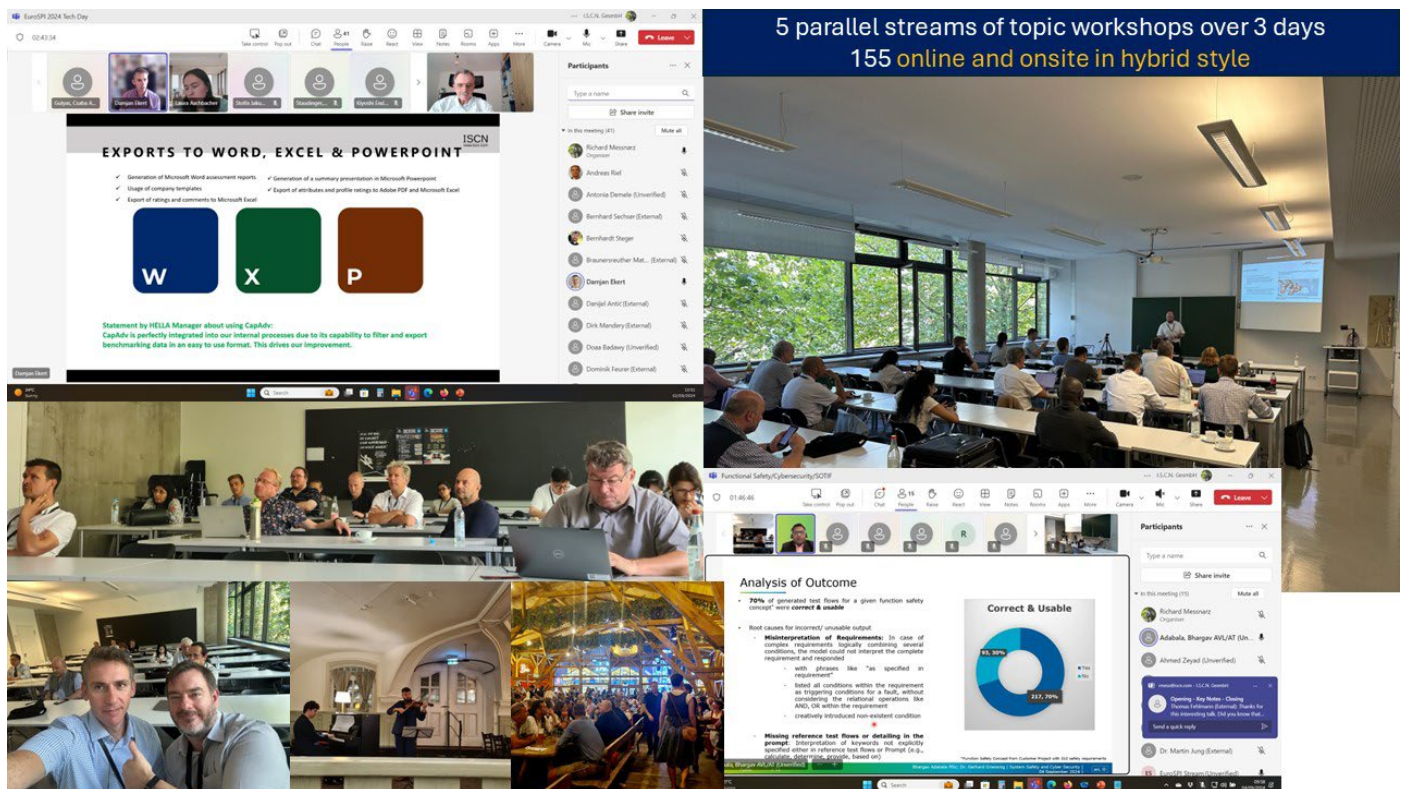


図 1: EuroSPI 2024 の様子

今年は SEI/CMU が生成 AI に関する基調パネルで登壇し、ICSSP カンファレンスからも 5 番目のセッションとしてご参加くださいました。EuroSPI は iNTACS の支援を受けており、参加アセッサーには EE が提供されます。EuroSPI の資料は SPRINGER に掲載しており、これまでに合計 148 万回と、トップ 10% のダウンロード数を誇ります。また WILEY においても Q2(上位 25~50%)のジャーナルとしてランクされています。

カンファレンスではアセスメントモデル、機能安全、サイバーセキュリティや、その他ソフトウェアエンジニアリング関連の最新トピック(例：機械学習、持続可能性、電動モビリティ、イノベーション、改善のベストプラクティス、アジャイルなど)に関するワークショップが行われました。著名なティア 1 や OEM がワークショップを主導しました(例：Elektrobit 社が安全とセキュリティ、フォルクスワーゲン社がアジャイル、AVL 社が規格)。また、交流や人脈形成のためのソーシャルイベントも行われました。

次回カンファレンスは、2025 年 9 月 10 日～12 日にラトビアのリガで、リガ工科大学がホストとして開催されます。詳細は <https://conference.eurospi.net> をご覧ください。

2024 年 11 月 21&22 日、名古屋にて”第 1 回 Asian SPICE Conference (ASCON)”開催

コロナ禍により長らく延期されていた待望の ASCON が、ついに初めて開催されるに至りました。カンファレンスの準備は、intacs 本部とアジア各国代表者、および Nippon SPICE Network (NSPICE.NET) によって構成されたプログラム委員会によって行われ、NSPICE.NET が運営しました。日本、中国、韓国、シンガポール、インドなど、アジア各国から 150 名ほどの参加者が集まり、SPICE や関連規格に関する最新の知見や事例が共有されました。



図 2: 第 1 回 ASCON の様子

基調講演は、intacs と VDA QMC の代表者によって行われ、日本の自動車業界団体、内外の OEM およびサプライヤーによる最新の取り組みも注目を集めました。日本の宇宙航空研究開発機構(JAXA)からは、新たに発表された JAXA PAM についての非常に興味深い講演が行われました。アジア各国のコミュニティから錚々たるスピーカーらが集う中、プレゼンテーションの投票も行われ、日本から参加したボッシュの武笠氏と ETAS の KV 氏が、初の荣誉あるベストプレゼンテーション賞を受賞しました。彼らの取り組みは前回の NSPICE カンファレンスで注目され、このイベントでさらに発展した形で紹介されました。

カンファレンスでは、スポンサー企業による展示ブースやプレゼンテーションも行われ、革新的なソリューションやサービスが紹介されました。初日の夕方には、参加者同士のネットワーキングや国境を越えた協力を強化するためのソーシャルイベントが開催されました。

ASCON は、アジア地域における SPICE の普及とプロセス改善を促進するプラットフォームとして機能

し、その影響を今後も持続させることを目指しています。

第 1 回 ASCON の詳細については、<https://ascon.nspice.net> をご覧ください。

第 9 回韓国 SPICE ネットワーク(KSN)カンファレンス開催と第 2 回 ASCON 計画

私たち KSN 委員会は、2024 年 10 月 17 日～18 日に第 9 回 KSN カンファレンスを開催し、KAATA および複数のスポンサーの支援のもと、280 名の参加者を迎え、成功裏に終了したことを報告いたします。

BMW、現代・起亜、サムスン電子、VDA AK13、フォルクスワーゲン、Waymo などの素晴らしい講演者をお招きできたことを光栄に思います。

また、KSN 議長である蔡光浩氏が、2024 年 11 月 21 日に名古屋で開催された第 1 回アジア SPICE カンファレンス(ASCON)において、韓国 SPICE コミュニティを紹介する機会をいただきました。

私たちは、2025 年に開催予定の第 2 回 ASCON の主催者となります。おそらく韓国の釜山で 10 月か 11 月に開催される予定です。

「500 名の参加者」という意欲的な目標を、敢えて掲げております。

第 2 回 ASCON の最新情報にご注目ください！



担当者:

蔡光浩 (khche@cnbis.co.kr)

iNTACS 韓国代表

免責事項、商標および商号

ニュースレターの登録やキャンセルは、intacs.info にログイン後、“プロフィール編集-ニュースレター/言語”にて行えます。

商標

商標の使用に関し、各パートナーと合意した以下の詳細についてご留意願います。

intacs®、Agile SPICE®、Automotive SPICE®、VDA® QMC®、ECQA®は登録商標です。左記商標および関連ロゴの使用は、いかなる種類の証明書にも使用が禁止されています。

他の目的でロゴを使用する際には、必ず事前に当該権利保有者から書面による承認を得る必要があります。いかなる違反もアセッサー資格の喪失や、法的措置を引き起こす可能性があります。




アセッサー資格認証の初回および更新申請に関する「[アセッサー資格認証申請書](#)」中の記述にもご留意願います。

本文書にて使用されている商標：

- Automotive SPICE®, ASPICE®, VDA® および QMC® は VDA Verband der Automobilindustrie e.V., 10117, Berlin, DE の登録商標です。
- JAXA® は 宇宙航空研究開発機構 〒182-0012 東京都調布市深大寺東町7丁目44-1の登録商標です。
- iNTACS®, intacs® および Agile SPICE™ は International Assessor Certification Scheme e.V. (intacs e.V.), 51147, Köln, DE の登録商標です。

翻訳

すべての翻訳は正式版である英語版ニュースレターに基づいています。英語版並びに全翻訳版とも intacs e.V.の著作物です。本ニュースレターを翻訳してくださった翻訳者の方々に感謝申し上げます。

	中国語翻訳者： Yawen (Evan) Hou (gchaier@126.com) iNTACS “情報管理”WG メンバー
	日本語翻訳者： 蔡光浩 (chekwangho@quantumassoc.co.jp) iNTACS 韓国代表
	韓国語翻訳者： Jeong Kee Kim (jkkim@cnbis.co.kr) Korean SPICE Network 副会長

ご意見およびフィードバック

ご意見やフィードバックをいただければ幸いです！ どうぞお気軽に以下メールアドレスまでご連絡ください。

よろしく願いいたします。

Thomas Kömmerling & “情報管理”WG より

	<p>担当者： Thomas Kömmerling (thomas.koemmerling@intacs.info) iNTACS “情報管理”WG リーダー&アドバイザーボードメンバー</p>
---	--

International Assessor Certification Scheme e.V. (iNTACS e.V.), Herderstr. 7, 51147 Köln, Germany